

阿山郡と名賀郡

市史編さんだより(4)

平安時代末ごろから、伊賀は、

阿拝郡 旧上野市市街・諏訪・府中・中瀬・三田・

小田・新居・長田・久米・花之木の各地区、旧阿

山町、旧伊賀町、旧島ヶ原村

山田郡 旧上野市友生地区、旧大山田村

伊賀郡 旧上野市猪田・依那・古・花垣・古山・神戸・

比自岐の各地区、旧青山町、現名張市上庄田・南

古山

名張郡 現名張市

という行政区画に分かれていました。近世には郡奉行が置かれ、明治4年(1871)、廃藩置県後は郡役所が置かれました。しかし、郡役所は各郡にはなく阿拝郡上野町に「阿拝山田郡役所」が名張郡築瀬町(後の名張町)に「名張伊賀郡役所」が置かれたに過ぎません。このような郡役所の配置はどのように決められたのでしょうか。

滋賀県大津市の近松寺に残る「関蟬丸神社文書」の江戸中期の記録に、阿拝郡・山田郡などの記述もみられますが「伊賀北部郡」「伊賀南部郡」または「北郡」「南郡」と記されたものがあります。このうち「南部郡」は伊賀・名張両郡を指すものか、名張郡だけを指したのかは不明ですが、江戸時代には既に、4郡があると考えながら実質的には、行政区画は2つしかなかったものと見られます。

明治29年(1896)4月1日に施行された「三重県下郡廃置法(法律第46号)」によ

って正式に阿拝郡と山田郡を合併して阿山郡と、名張郡・伊賀郡を合併して名賀郡と名付けられ、名実ともに2郡となりました。その後、長くその名称は親しまれてきましたが、昭和16年(1941)上野市が誕生し、さらに郡の枠を越えて合併が繰り返され、昭和29年(1954)名張市が誕生した結果、阿山郡・名賀郡の形は大きく変化しました。

平成16年(2004)11月1日、上野市・阿山郡阿山町・同伊賀町・同大山田村・同島ヶ原村そして名賀郡青山町が合併して「伊賀市」が誕生しました。これによって、長い間親しまれてきた各町村の名とともに、「阿山郡」「名賀郡」という郡の名も消滅しました。本庁総務課市史編さん係 ☎52・4380



▲宝暦年間(1751~1763)の伊賀国全図



市の木
▼アカマツ

▲市の花
ササユリ

市の鳥
▼キジ



ひとが輝く 地域が輝く
~住み良さが実感できる自立と共生のまち~
伊賀市 IGA CITY



たすきでつなぐチームの絆

2月4日にゆめが丘や友生周辺を会場に、伊賀地区駅伝競走大会が行われました。

前日までは悪天候でしたが、当日は競技に影響もなく、参加したチームは真剣な表情でスタートを迎えました。

この駅伝大会は、多年に渡って参加しているチームや選手が多く、今年も30回以上出場の選手を筆頭に、20人の選手が永年出場の表彰を受けました。

表紙の「長田走ろう会」チームも、この駅伝大会には22回参加していて、市のスポーツ振興に貢献されています。(今月の表紙)



発行日 平成19年3月1日

発行 伊賀市

〒518-8501

三重県伊賀市上野丸之内116番地

編集 企画振興部広聴広報課

☎0595-22-9636

FAX 0595-22-9617

伊賀市ホームページ:

<http://www.city.iga.lg.jp/>



この広報紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。